

ひばり

東国分爽風学園 市川市立稲越小学校

〒272-0831 市川市稲越 3-21-8 TEL 373-8401

<https://ichikawa-school.ed.jp/inagoshi-sho/>

「新」ひばりまつりになった経緯

校長 吉田 直美

気温が急激に下がり、めっきりと寒くなりました。空を見上げると秋を感じる雲が目に見え飛び込んできます。紅葉も美しく彩りを添えています。

今年度から、ひばりまつりが変わります。東国分爽風学園として「ふるさと探究科」がスタートし、3校が連携して取り組んでいくために、各校の担当職員が試行錯誤しながら推進してきました。その中で、本校の伝統行事である「ひばりまつり」をどのように改革していくかが直近の課題でした。「探究科」として取り組むにあたり、今までの教師主導型ではなく、「子供発信」の行事にしたいと考えました。「子供主導型」にするためには教職員の意識改革も必要であるため何度も検討を重ねました。これまでの学校だよりでお伝えしてきたように、子供発信による学校行事への取り組みは、今年度のサブテーマでもあります。以下は5・6年担任が、子供たちに心構えとして示したメッセージです。

今年から、ひばりまつりが新しく生まれ変わります。

記念すべき第1回!成功するかしないかは、あなたたちの企画力にかかっています。どの学年の子たちも、夢中になって「こんなことやってみたい!」「こうやったらもっとステキになるよ!」なんて声があがり、「いいね!本当にできるか検討してみるね!」と高学年が受け止めながら、加えたり変えたりと調整できたら最高ですね。

ということは・・・

初めから**難易度の高いものを設定しないことが成功の秘訣**です。「覚えることで精いっぱい・・・」「本当に仕上がるの?」そんな内容にしてしまうと、どうしても「無理矢理やらされて楽しめない準備期間」になってしまう子ができます。練習は、仕上がってからがだいご味。チームの子全員が意見や案を出すことで「**自分たちの発表**」に誇りを持って取り組み、最高に楽しいひばりまつりとなるでしょう。ステージでキラキラ輝く姿を楽しみにしています。

11月の主な行事予定

1日(火) 2年 町探検 3・4校時	17日(木) 6年 東国分中部活動見学(希望者)
2日(水) 5・6年 委員会活動	18日(金) 5年 すこやか検診
3日(祝) 文化の日	避難訓練(小学部合同)
5日(土) 開校記念日(42周年)	22日(火) 3年 校外学習
吹奏楽部地区別音楽会(東国分中)	23日(祝) 勤労感謝の日
7日(月) 全校朝会	第4地区子供育成会親睦スポーツ大会
9日(水) 4・5・6年 クラブ活動	(東国分中)
11日(金) ベルマーク回収日	24日(木) ぼかぼか表彰式
須和田の丘フェスティバル	25日(金) スクールカウンセラー来校日
(小学部)	5・6年新ひばりまつり前日準備
15日(火) PTA 運営委員会	(6校時)
6年 東国分中部活動見学	26日(土) 新ひばりまつり
(希望者)	28日(月) 振替休業
	30日(水) 定例研

ぽかぽか地域安全確認大作戦 グループについてくださった保護者の声

ボランティアでグループについてくださった皆様からいただいたご意見を紹介いたします。
これから行われる他の行事や来年度さらにパワーアップした本行事に活かしていきたいと思えます。

- 準備から子供たちが中心に動いたことがとてもよかったと思えます。子供たちの意見を取り入れたというシール、手作りのお知らせのお手紙や、感謝状。手作りがうれしかったしほっこりしました。
- 企画、運営、発表と社会に役立つこと満載でしたね。
- 6年生がしっかりまとめていて頼もしかったです。(多数)
- 車に気を付けて歩いていました。
- 時間の配分がぴったりでした。さすがですね。
- 地域の方々が参加され、とても良いイベントだと思いました。
- 道で会う方に積極的にあいさつをして、地域の皆さんも笑顔で応えてくださいました。
- 子供たちだけでなく、保護者にとっても良い機会でした。
- 坂上は、改めて交通量の多さと歩道の狭さを感じました。
- 5年生6年生が温かく指導していてほほえましく、低学年の子たちも元気いっぱい、楽しめましたし、私自身も子供たちから元気をもらえました。
- 5、6年生のリーダーシップには驚かされました。
- これからも続けて参加したいと思いました。
- 先生方の見守りもどうもありがとうございました。
- 子供主体の活動は続けてほしい。地域の方との触れ合いが少ないのでやめないでほしい。
- 今回は、今までよりいろいろ注目して見つけていてよかったです。
- 稲越はとても温かい街だと思いました。
- 本当によく考えられて計画した行事だと思えます。これからも引き継いで、地域のことを子供同士で、保護者と共に伝え合っていけたらいいなと思えます。

- ・高学年の男子達から女の子が遅れてしまう場面が何度かあり、もっと声かけしてあげればよかったかなと思いました。
- ・最近、坂上の通学路のカーブでたてつづけに事故があり、交通量も増えているので、子供たちにもルールを教えていきたいと思えます。

△ルールがわかっていない子がいたので、事前に話し合いがあったほうがいいのかもかもしれません。

△歩いていると暑いくらいの陽気でしたが水筒を持っていない子がいたのが心配でした。

△グループの子供たちがばらばらに広がってしまったり、時には電柱に登ったりして6年生が大変そうでしたが、頑張っていました。

△6年生が頑張りましたが、下級生が道を外れないように6年生が気を配っていて負担が大きい印象を持ちました。

さまざまな学校行事を通して、稲越という地域の温かさを身に染みて感じております。本当に素敵な地域です。市川市内の中では児童数が少ない小学校ですが、この地域の温かさは稲越の財産だと自信をもって言えます。

子供たちがこの素晴らしさをこれからも実感できるよう、地域と結びついた学校運営に尽力してまいります。

